【国語科学習指導案様式】　　単元の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインします。

ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられます。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はありません。

第〇学年国語科　学習指導案

指導者　　＊＊　＊＊

１　単元名　　　＊＊＊＊＊＊

※　学習指導要領解説の該当する指導事項を基に書きます。

２　単元の目標

（１）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊することができる。〔知識及び技能〕※指導事項を表す記号

（２）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕※指導事項を表す記号

（３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

単元の目標を実現するために適した言語活動を言語活動例を参考に位置付けます。

学年の目標「言葉がもつ～伝え合おうとする。」までを示します。

３　本単元における言語活動

　　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕※言語活動例を表す記号）

※　関連する言語活動例を表す記号等を書きます。

４　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊している。※指導事項を表す記号 | ①「＊＊こと」において＊＊＊＊＊＊＊している。※指導事項を表す記号 | ①＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊しようとしている。  単元の目標を基に、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に作成します。**目標と評価規準の整合性**に注意しましょう。「主体的に学習に取り組む態度」については、当該単元で育成する資質・能力と言語活動に応じて文言を作成します。（「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P38参照） |

５　単元について

（１）教材観

単元のねらいと設定した言語活動との関連をふまえ、単元構想の意図について記述します。

（２）児童生徒観

本単元につながるこれまでの学び、県学力診断のためのテストの結果やレディネステストなどの実態調査（できるだけ数値化したもの）から、本単元において児童生徒に身に付けたい資質・能力などを記述します。

（３）指導観

児童生徒観に書かれた課題を受け、単元のねらいに迫るための指導上の手立てを記述します（カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れていけると、なおよいでしょう）。

６　単元の指導計画（４時間扱い）　　　　　　**○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容・活動 | 知 | 思 | 態 | 評価及び評価方法等 |
| １ | １  ２ | |  | | --- | | 学習課題 |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（本時以外は簡潔に）  育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる**主な活動**を入れます。**（※１）**  まとめと振り返りは違いますので注意しましょう。  まとめ | ○ | 観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく単元や題材など**内容や時間のまとまりごと**に、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、評価する場面を精選することが重要です。 | ○ | 知①：（◎記録に残す評価場面までにこの段階では何を理解しているとよいのか）について見取り、理解していない児童生徒には（理解できる様にするための手立て）を講じる｡　　【ワークシート、観察】  態①：（学習活動に）向かっていない児童生徒を見取り、(活動に向かうための手立て）などの指導を行う。  【観察】  ○指導に生かす評価場面は、単元の評価規準を（１時間ごとや）まとまりに落とし込み、何について見取るのかを具体で表すと共に、Ｃと判断される児童生徒についての手立てを示します。 |
| ２ | ３  本時 | **目標：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**  本時の目標をゴシック体・太字で記述します。  １　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | 学習課題 |   ２　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ３　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  正対します。  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ４　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ |   ５　＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | 矢印の整合性を意識してください。  その時間に育成する資質・能力を達成するための課題を設定します。  ◎ | ○ | 本時には、指導上の留意点を記述します。（※２） | 思①：（◎記録に残す評価場面までにこの段階では何を思考・判断・表現しているとよいのか）について見取り、できていない児童生徒には（できるようにするための手立て）を講じる｡　【ワークシート】  児童生徒への働きかけ、配慮事項等を記述します。  ・～する。  知①：～している。  【ワークシート、小テスト】  まとめが評価に結びつくようにします。 |
| ３ | ４ | |  | | --- | | 学習課題 |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ＊＊＊＊＊＊＊（本時以外は簡潔に）   |  | | --- | | まとめ  振り返り | | 単元の最後なので、本時のまとめとともに、単元を通して何を学んだか、児童生徒が振り返る時間を設けます。 | ◎ | ◎ | 思①：～している。【ワークシート】  態①：～している。  【ワークシート、活動の様子】 |

**※１**　指導計画は、単元のまとまりを見通し作成します。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間に育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れます。

**※２**　授業公開等を行う場合は、「本時」について、学習内容・活動を詳しく示したり、評価及び評価方法等の欄に配慮事項を加えたりするとよいでしょう。